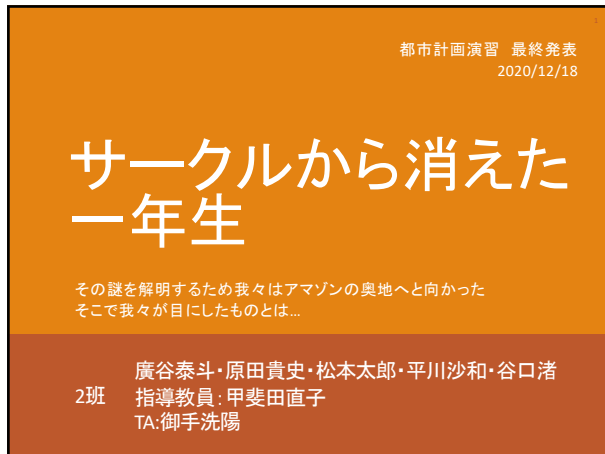
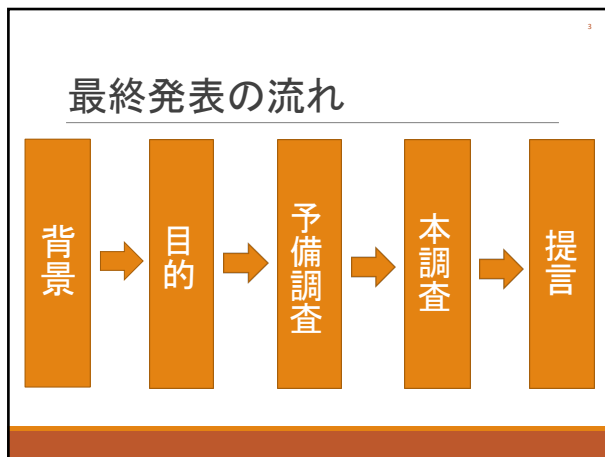




1



2



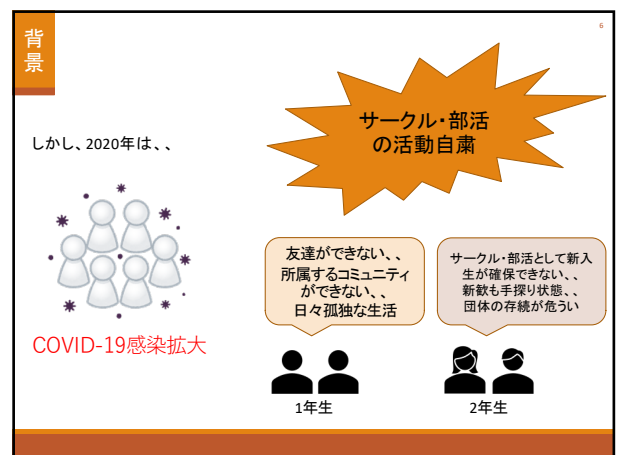
3



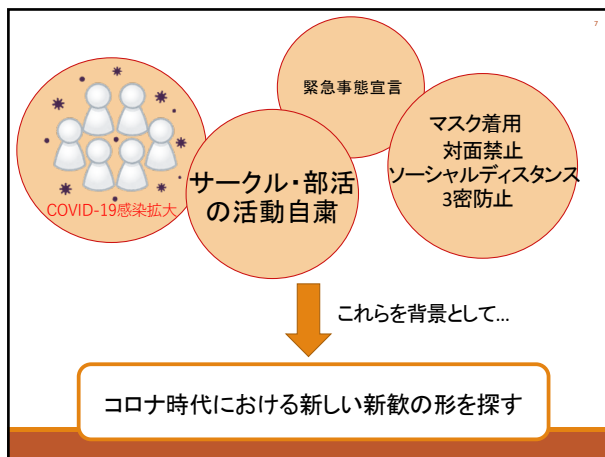
4



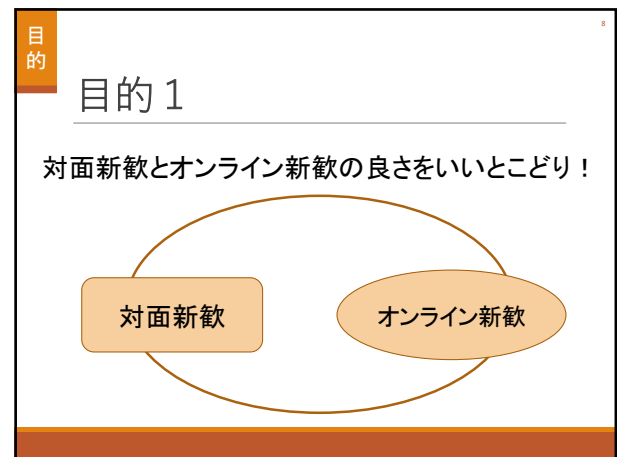
5



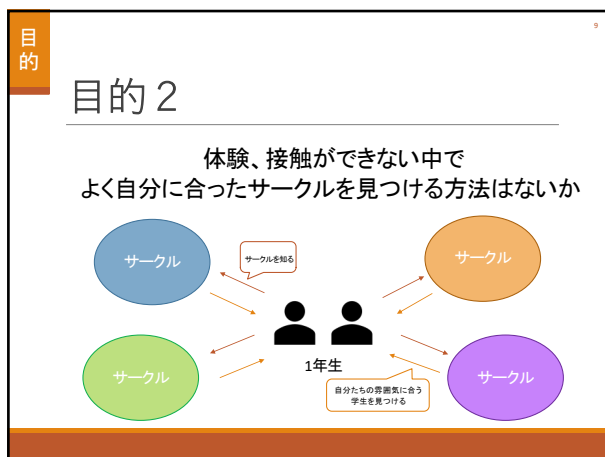
6



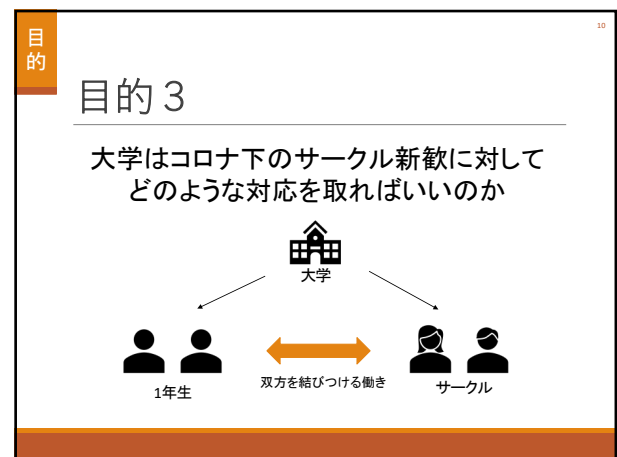
7



8



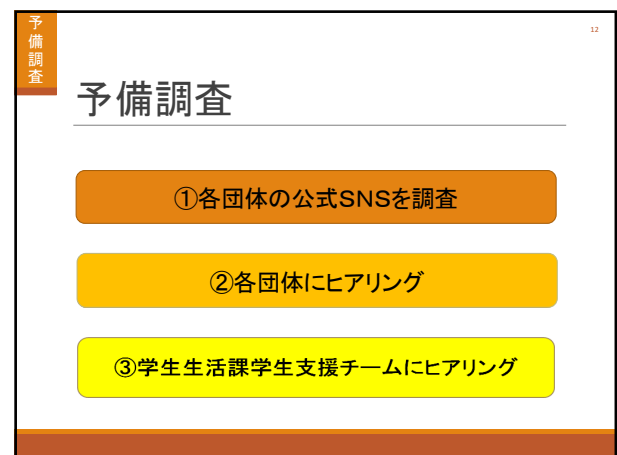
9



10



11



12

予備調査

各団体の公式SNSの調査とサークル・課外活動団体へのヒアリング結果

サークル新歓について

オンラインが主流

部活	新歓をせずとも一定数加入。
体育会同好会	積極的に勧誘。
文化系&芸術系	積極的に勧誘。
一般団体	積極的に勧誘。

新歓結果から...

成功要因の予想

- ・公式ツイッターによる情報発信
- ・zoomなどでのオンライン新歓
- ・こっそり行われた対面新歓

13

予備調査

大学へのヒアリング結果

大学対応について

学生個人を守る対応

- ・大学はサークルに対して責任を取れない
- ・感染してしまった際の個人への誹謗中傷から守るために規制
- ・基本的には学生を応援

↓

大学側とサークル側で思惑がずれていった

日時：令和2年 11月5日 午前9時～
場所：学生生活課事務室
ヒアリング担当：廣谷、松本

14

本調査

15

本調査-アンケート調査-

新歓の効果を検証	⇒	1年生対象アンケート
1年生との比較	⇒	2年生対象アンケート
サークル新歓の実態を調査	⇒	部活・サークル対象アンケート

16

本調査

1年生対象アンケート

実施目的	1年生間の加入率や課外活動への満足度の相違、新歓形態の詳細を調査する
対象	筑波大生 1年生99名
有効回答数	99
方法	Microsoft Forms
実施日時	12/1～12/7
質問項目	
部活やサークルに入っているかどうか	加入の決め手
加入した団体を知った時期、加入を決めた時期	加入のきっかけ
部活やサークルを知った媒体	課外活動の満足度、その変化
参加した新歓の形態、新歓の内容	など

17

本調査

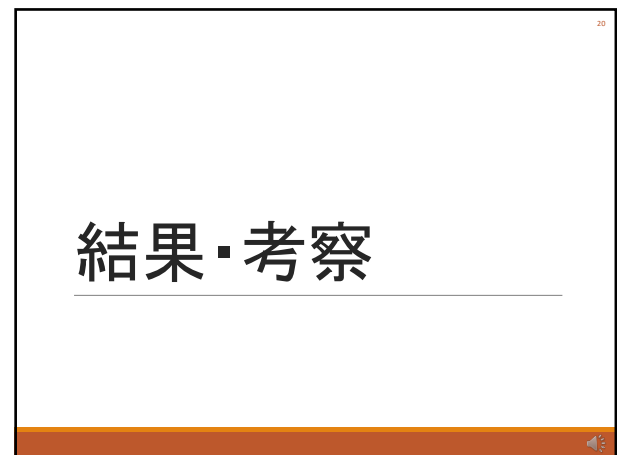
2年生対象アンケート

実施目的	2年生間の加入率や課外活動への満足度の相違、新歓形態の詳細を調査する
対象	筑波大生 2年生57名
有効回答数	57
方法	Microsoft Forms
実施日時	12/1～12/7
質問項目	
部活やサークルに入っているかどうか	加入の決め手
加入した団体を知った時期、加入を決めた時期	課外活動の満足度、またその変化
サークルや部活を知った媒体	課外活動の満足度、またその変化
過去にやめたサークルがあるか、またその理由	など

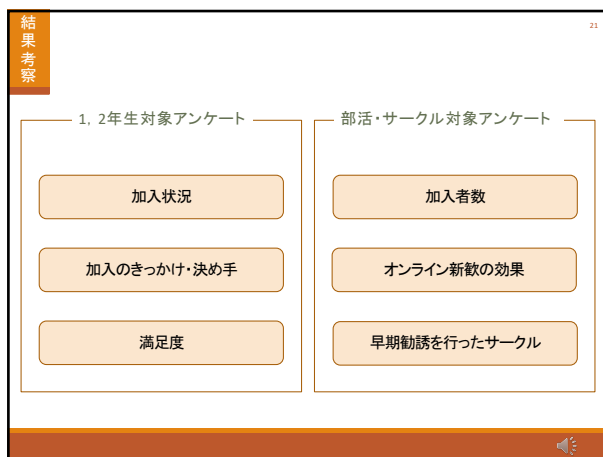
18

本調査	
部活・サークル対象アンケート	
実施目的	コロナ禍における部活・サークル活動の実態調査
対象	筑波大学の部活・サークル 43団体
有効回答数	42
方法	Microsoft Forms
実施日時	12/1～12/7
質問項目	
対面活動再開時期	早期新歓の有無
新歓の内容	現在の活動状況
加入した1年生の数	新歓の回数
オンライン新歓の参加人数	など

19



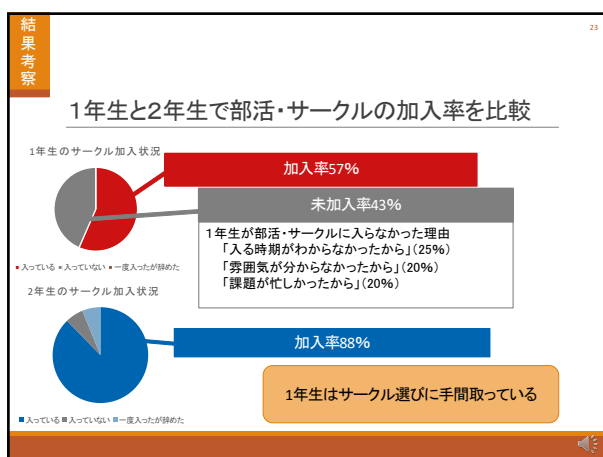
20



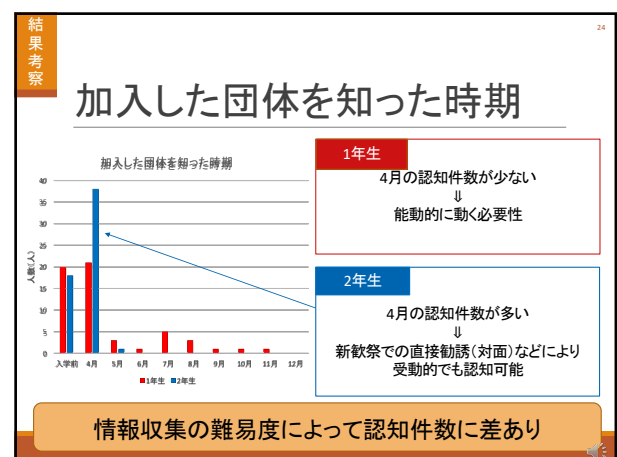
21



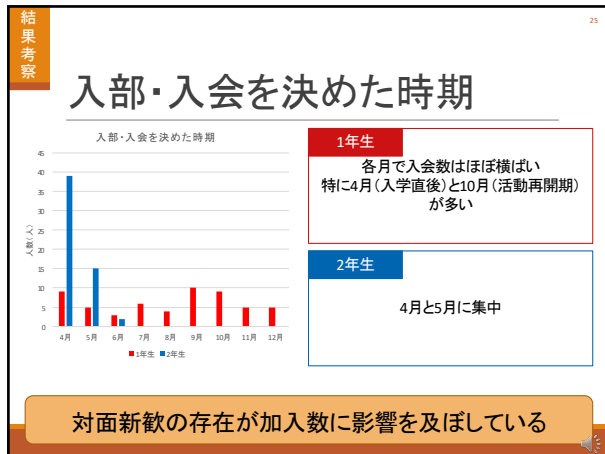
22



23



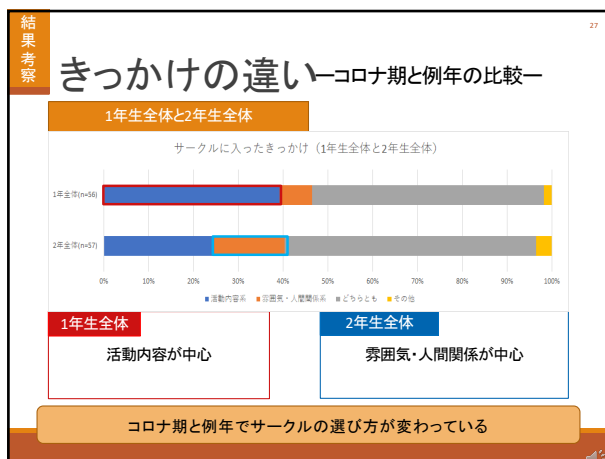
24



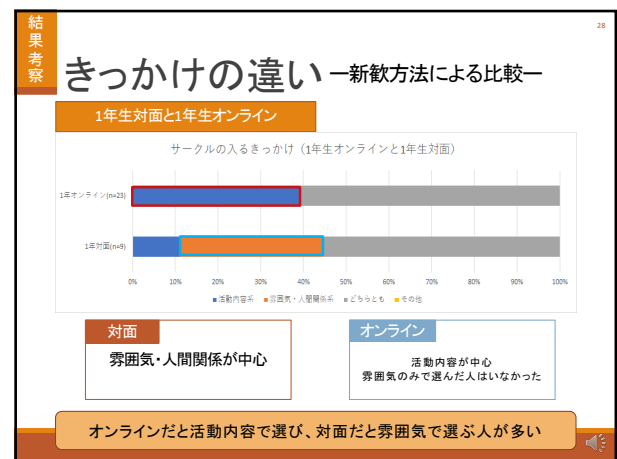
25



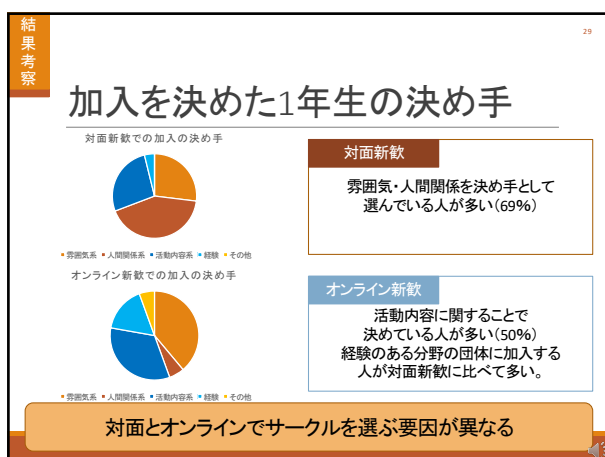
26



27



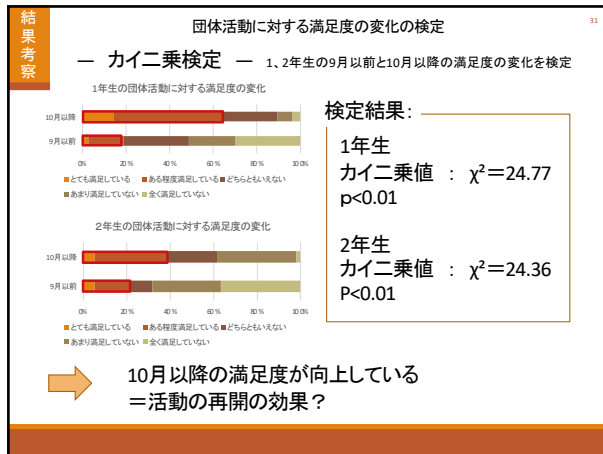
28



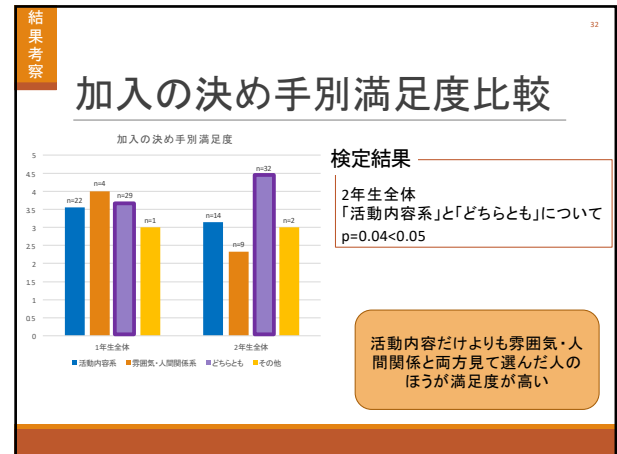
29



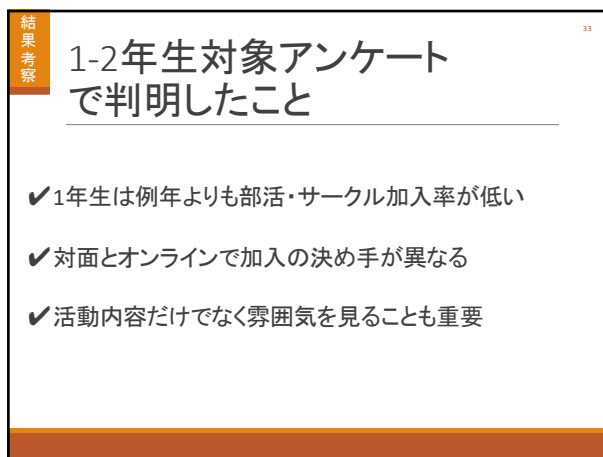
30



31



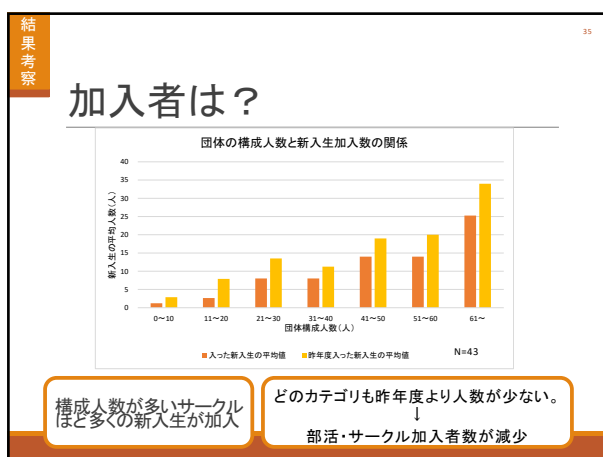
32



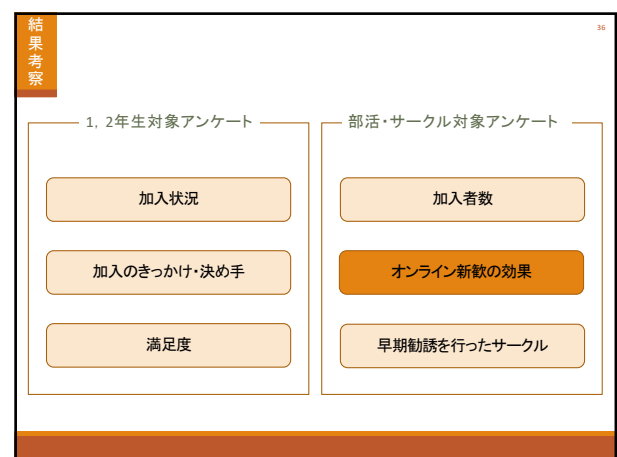
33



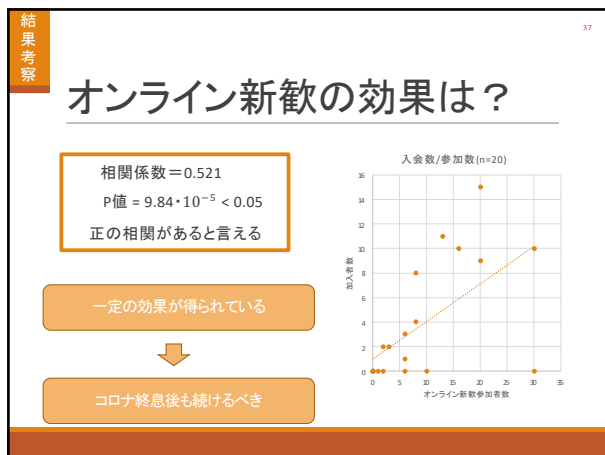
34



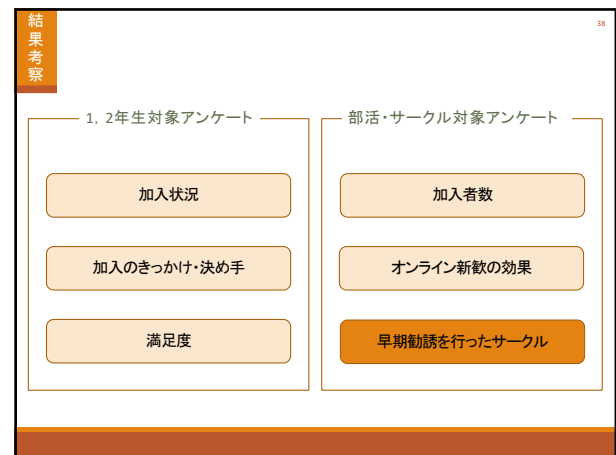
35



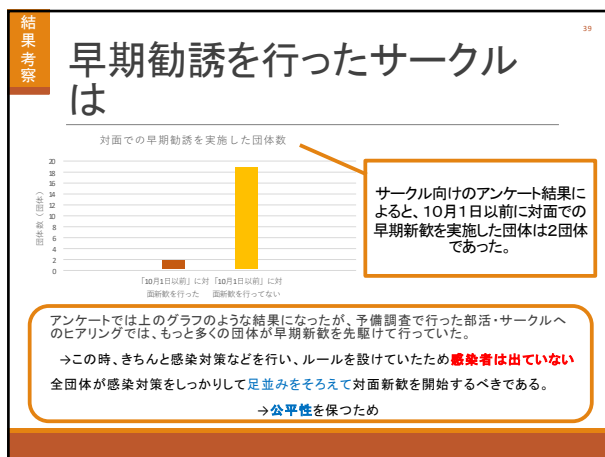
36



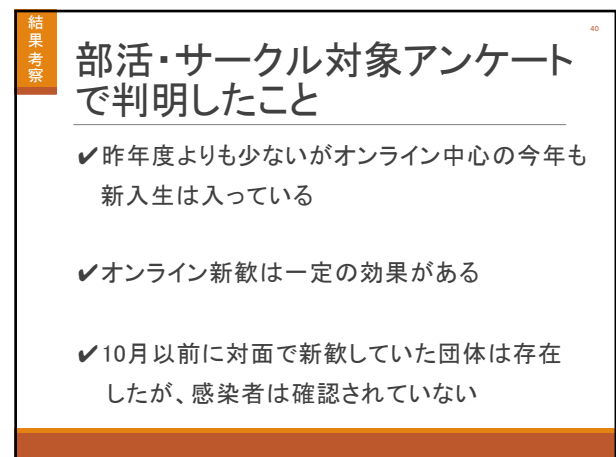
37



38



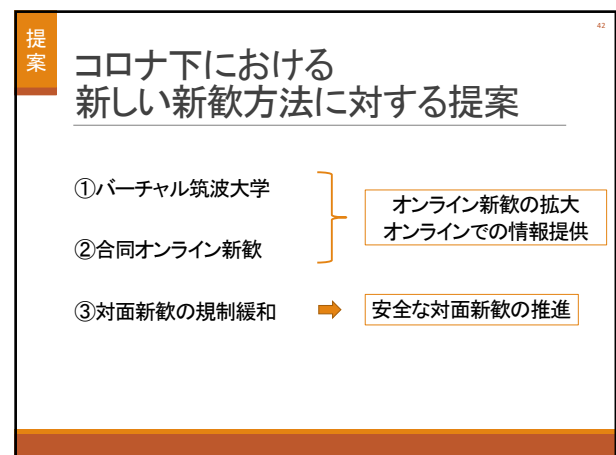
39



40



41



42

提案

バーチャル筑波大学

バーチャル東大

2020年度の東京大学のオープンキャンパスで、バーチャル空間に東京大学のキャンパスを再現した「バーチャル東大」を実施した。

モデル作成: VRサークル所属の学部生3人

作成期間: 1ヶ月半

使用アプリ: cluster

cluster(クラスター)について

スマートフォンやPCなどからバーチャル空間に集ってイベントに参加したり、友達とコンテンツを楽しめるバーチャルSNS
(<https://cluster.mu/>)



https://www.u-tokyo.ac.jp/opendays/entry.html#virtual_UT

43

提案

バーチャル筑波大学

- ・バーチャル空間に筑波大学を再現する
モデル作成: 有志の筑波大生
使用アプリ: cluster
- ・部活やサークル団体を大学内にNPCとして配置
話しかけると団体紹介、新歓HPやSNSへのリンクを表示
この部分の内容は各サークルに作成を依頼

効果

- ・例年の新歓祭に近いもの体験し、サークル全体の雰囲気を感じる
- ・筑波大学の部活やサークルを知る

44

提案

合同オンライン新歓

様々な団体が集まって一度に多くの新入生相手に新歓を行う。

各団体は先に部屋を建てて待っている。

イベントの運営委員は各団体の新歓委員から招集

合同新歓の流れ

- ① イベント説明、各団体の短い紹介
- ② 気になる団体の新歓に参加(前半)
- ③ 気になる団体の新歓に参加(後半)

45

提案

対面新歓の規制緩和

- ・オンライン新歓にて連絡先を交換した人のみ対象に行う

効果

不特定多数が集まり、密になることを避けれる
サークル側で人数の調整が可能
本当に興味のある人のみに新歓を行うことができる

- ・行動管理表の記入

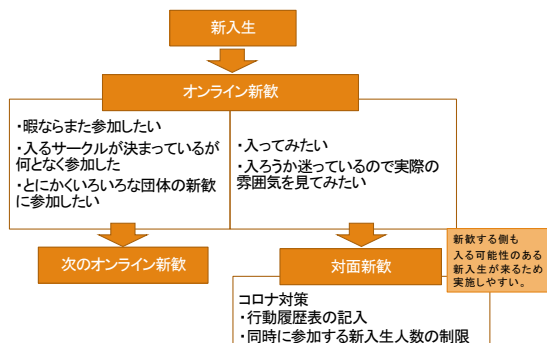
新入生がいつこのサークルの対面新歓に行ったのか記入

感染者が出てしまった時に素早い感染経路確認が可能

46

提案

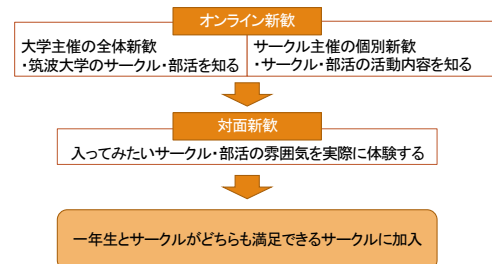
対面新歓の規制緩和



47

提案

コロナ下の新しい新歓



48



49

謝辞

本調査を行うにあたり、ご指導頂いた甲斐田直子准教授、御手洗陽さん、誠に感謝申し上げます。

そしてヒアリング調査に協力して下さった学生生活科学性支援チームの皆様、アンケート調査に協力して下さった筑波大学1, 2年生の皆様、部活・サークルの代表者の皆様に心より感謝申し上げます。

50

引用文献

- 1) 佐々木 俊一郎・山根 承子・マルデワ グジェゴシュ・布施 匡章・藤本 和則(2018.3)「大学生の幸福度と学業に対する主観的評価: アンケート調査と学業データによる分析」『生活経済学研究』Vol.47
- 2) 岸田孝(2014)「大学生の生活満足度の規定要因—全国26大学調査から—」『共同研究: 「大学生」に関する総合的研究(Ⅱ)』
- 3) (ひらく 日本の大学) オンライン授業、慣る学生 朝日新聞・河合塾共同調査
<https://www.asahi.com/articles/DA3S14575683.html>
- 4) 藤本健太・菊池秀夫(2006)「大学生の組織スポーツへの参加動機に関する研究: 体育会運動部とスポーツサークル活動参加者の比較」中京大学 体育学論叢, 47, 37-48.
- 5) 東京大学: 高校生のための東京大学オープンキャンパス
https://www.u-tokyo.ac.jp/opendays/entry.html#virtual_UT (2020年12月16日最終閲覧)
- 6) cluster: パーチャルSNS cluster
<https://cluster.mu/> (2020年12月16日最終閲覧)

51

ご清聴ありがとうございました

52